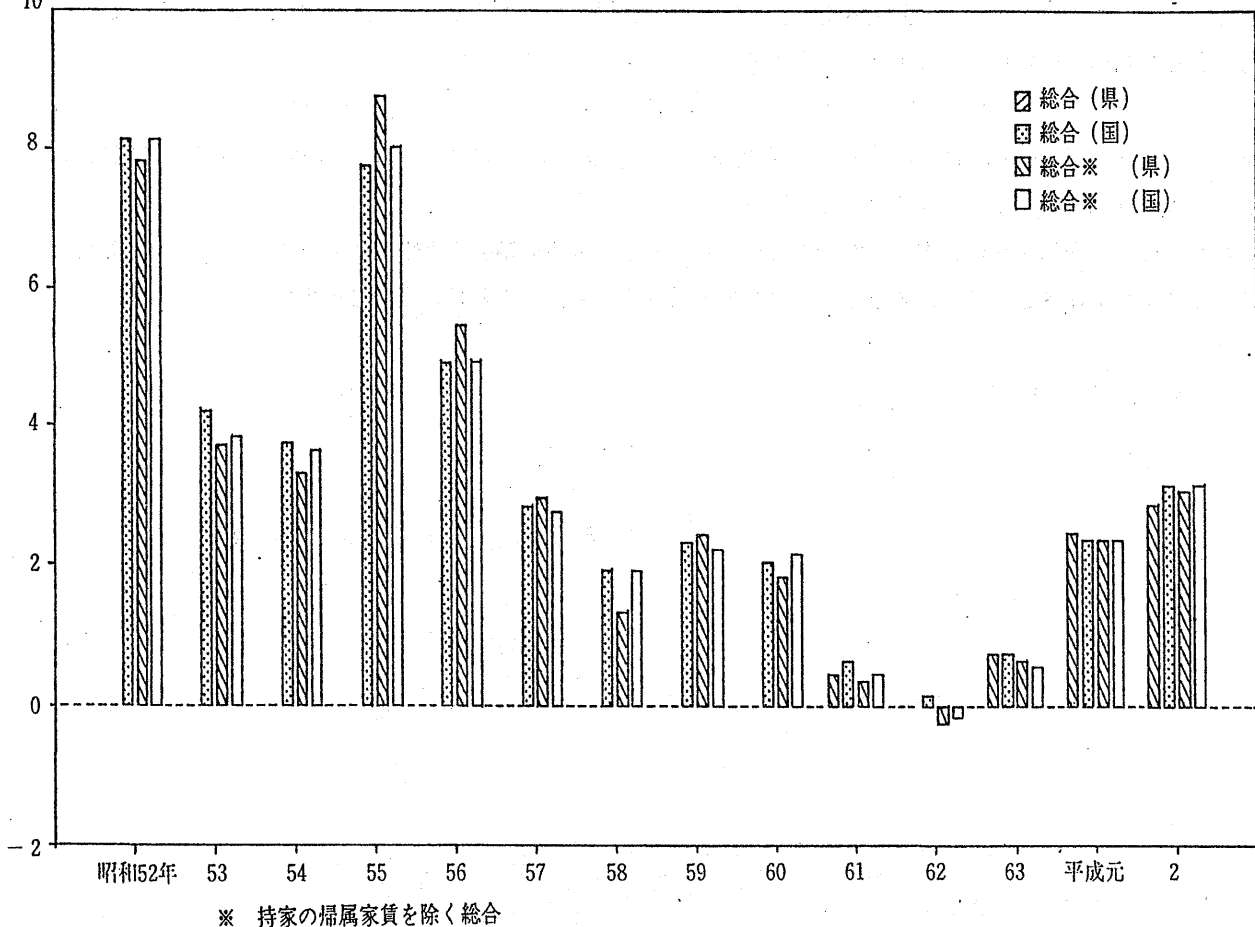


平成2年平均三重県消費者物価指数の動向

図1 消費者物価指数対前年上昇率 (60年以前は県の総合は持家の帰属家賃を除く総合のみ)



1. 概 要

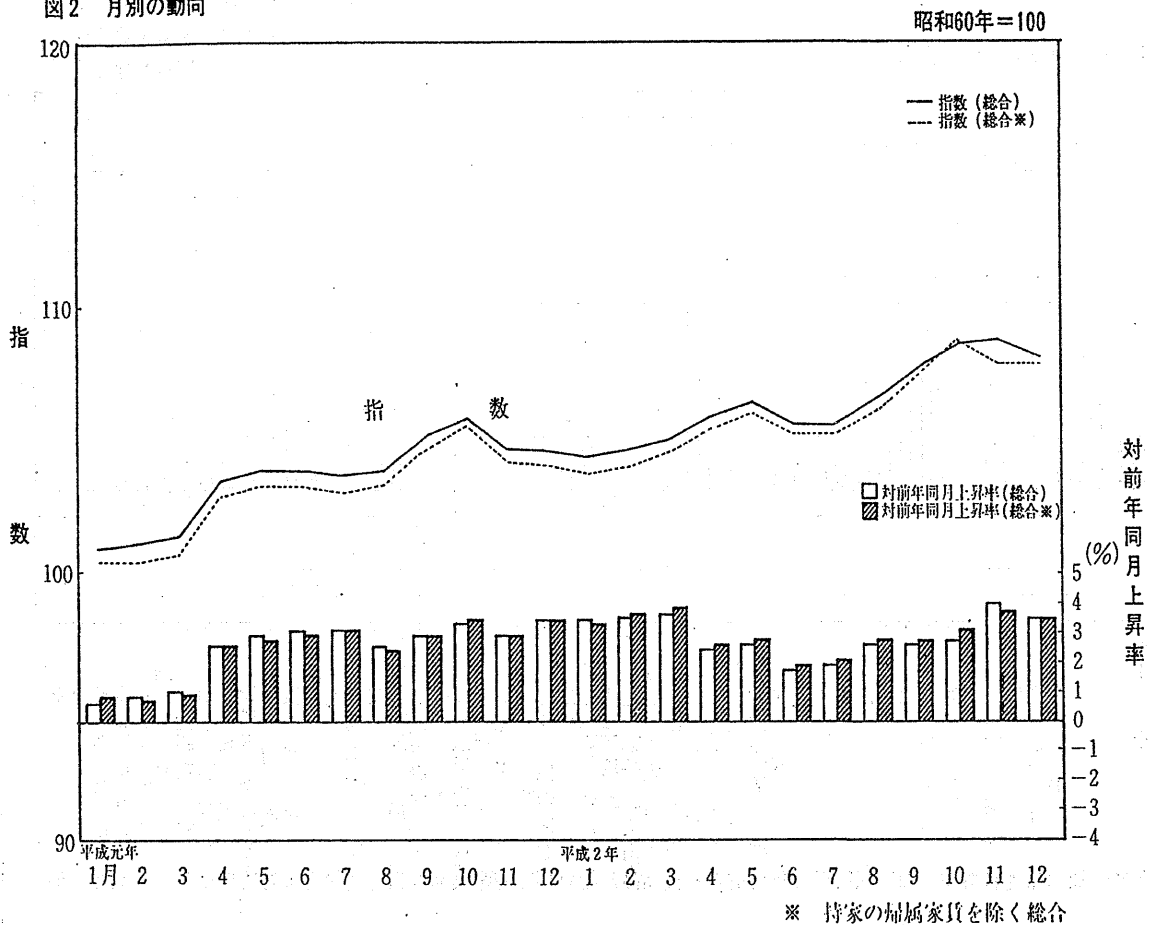
県……平成2年平均三重県消費者物価指数は、昭和60年を100とした総合指数で106.4となり、前年に比べ(+)2.8%の上昇となった。

持家の帰属家賃を除く総合指数は106.0となり、前年に比べ(+)3.0%の上昇となった。

最近の総合指数の対前年上昇率の推移をみると、昭和61年(+)0.4%、62年0.0%、63年(+)0.7%と3年連続して1%未満の上昇で極めて安定した動きで推移してきた。しかし、平成元年は4月から消費税が導入されたこともあって(+)2.4%の上昇となった後、2年は(+)2.8%とさらに上昇幅が拡大した。

国……平成2年平均全国消費者物価指数は、昭和60年を100とした総合指数で106.9で、前年に比べ(+)3.1%の上昇となり、前年の上昇幅(+)2.3%からさらに上昇幅が拡大した。

図2 月別の動向



2. 年間の動き

平成2年の消費者物価指数（総合指数）の動きを対前月上昇率でみると、次のとおりである。

- 1月……果物、野菜・海草、魚介類などが値上がりしたものの、肉類、衣料、シャツ・下着、乳卵類などが値下がりしたため（-）0.2%の下落。
- 2月……シャツ・下着、衣料などが値下がりしたものの、果物、乳卵類、野菜・海草などが値上がりしたため（+）0.3%の上昇。
- 3月……乳卵類、果物、教養娯楽用耐久財などが値下がりしたものの、衣料、酒類、他の光熱、魚介類、野菜・海草などが値上がりしたため（+）0.4%の上昇。
- 4月……果物、通信などが値下がりしたものの、補習教育、上下水道料、シャツ・下着、授業料等、衣料などが値上がりしたため（+）0.9%の上昇。
- 5月……家庭用耐久財、魚介類などが値下がりしたものの、果物、シャツ・下着、教養娯楽用耐久財、野菜・海草、他の教養娯楽、衣料などが値上がりしたため（+）0.5%の上昇。
- 6月……乳卵類、菓子類、衣料、肉類などが値上がりしたものの、野菜・海草、魚介類、果物、他の教養娯楽などが値下がりしたため（-）0.8%の下落。

などが大幅に上昇したため(+)11.1%の上昇となった。魚介類は(生鮮魚介)のサケが値下がりしたもののカキ、サバ、タラ、イワシなどが値上がりしたため(+)5.8%の上昇となった。果物は(生鮮果物)のアムスメロン、カキなどが値下がりしたものの、グレープフルーツ、リンゴ(スターキング)、レモン、オレンジなどが値上がりし、果物加工品のみかん缶詰なども値上がりしたため(+)6.3%の上昇となった。また、乳卵類は鶏卵、チーズ、粉ミルクなどの値上がりにより(+)6.0%、油脂・調味料が食用油、トマトケチャップなどの値上がりにより(+)3.4%、穀類がゆでうどん、即席中華麺、うるち米の値上がりにより(+)3.2%、菓子類がポテトチップス、キャラメルなどの値上がりにより(+)2.7%、調理食品がフライ、野菜サラダ、調理カレーなどの値上がりにより(+)2.4%、酒類がビールなどの値上がりにより(+)2.0%、外食が親子どんぶり、カレーライスなどの値上がりにより(+)1.0%、肉類が牛肉(輸入品)、プレスハム、ソーセージなどの値上がりにより(+)0.8%、飲料が緑茶(番茶、せん茶)などの値上がりにより(+)0.5%と全ての項目がそれぞれ上昇した。

- 住居は109.9となり、元年平均に比べ(+)1.7%の上昇となった。

これは、民営家賃、公営家賃などの値上がりにより家賃が(+)1.4%、板材、砂などの値上がりにより設備修繕・維持が(+)2.6%と上昇したためである。

- 光熱・水道は87.3となり、元年平均に比べ(+)3.6%の上昇となった。

これは、電気代が値下がりしたものの、ガス代は値上がりしたため電気・ガス代が(+)1.0%、灯油などの値上がりにより他の光熱が(+)24.3%、下水道料、水道料の値上がりにより上下水道料が(+)8.4%とそれぞれ上昇したためである。

- 家具・家事用品は102.2となり、元年平均に比べ(+)0.7%の上昇となった。

これは、ルームエアコン(冷暖房用)、洋服ダンスなどの値下がりにより家庭用耐久財が(-)1.2%と下落したものの、目覚まし時計、ベッド、毛布などの値上がりにより他の家具・家事用品が(+)1.4%と上昇したためである。

- 被服及び履物は112.2となり、元年平均に比べ(+)3.5%の上昇となった。

これは、ブルージーンズ、婦人オーバー、婦人スーツ(冬物)、スリーシーズンコートなどの値上がりにより衣料が(+)5.2%、子供セーター、男子パジャマなどの値上がりによりシャツ・下着が(+)2.0%、子供靴、運動靴(子供用、大人用)などの値上がりにより履物類が(+)2.3%、仕立て代、ネクタイ、などの値上がりにより生地・他の被服類が(+)1.9%とそれぞれ上昇したためである。

- 保健医療は105.2となり、元年平均に比べ(+)0.5%の上昇となった。

これは、生理用紙綿などの値下がりにより保健医療用品・器具が(-)1.7%と下落したものの、入院費などの値上がりにより保健医療サービスが(+)1.2%、胃腸薬などの値上がりにより医薬品が(+)0.7%とそれぞれ上昇したためである。

- 交通通信は102.9となり、元年平均に比べ(+)2.0%の上昇となった。

これは、通話料の値下がりにより通信は(-)0.6%と下落したものの、ガソリンなどの値上がりにより自動車等関係費が(+)3.3%、バス代などの値上がりにより交通が(+)1.3%とそれぞれ上昇したためである。

- 教育は120.1となり、元年平均に比べ(+)5.4%の上昇となった。

これは、学習塾の値上がりにより補習教育が(+)8.7%、大学授業料(国立、私立)、私立高校授業料などの値上がりにより授業料等が(+)4.9%、参考書(英語、国語、数学)の値上がりにより教科

書・学習参考書が(+) 1. 7%とそれぞれ上昇したためである。

- 教養娯楽は110. 2となり、元年平均に比べ(+) 3. 6%の上昇となった。

これは、カメラ、電卓、テレビ、ビデオテープレコーダーなどの値下がりにより教養娯楽用耐久財は(-) 0. 5%と下落したものの、放送受信料、切り花(菊、カーネーション)、宿泊料、書籍、雑誌、月謝(音楽、珠算)などの値上がりにより、他の教養娯楽が(+) 4. 0%と上昇したためである。

- 諸雑費は106. 2となり、元年平均に比べ(+) 0. 9%の上昇となった。

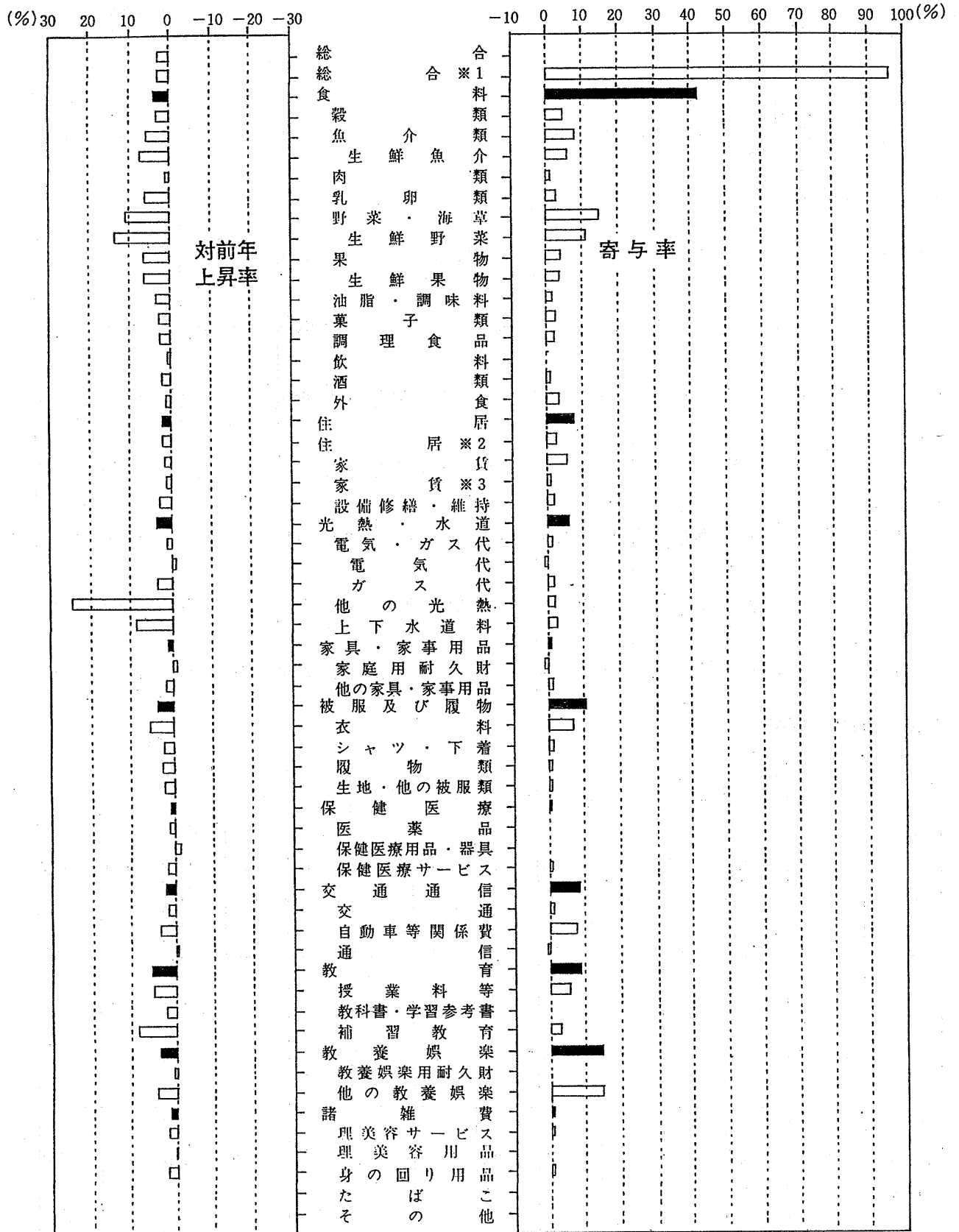
これは、旅行用かばん、ハンドバック、ハンカチーフ、腕時計などの値上がりにより身の回り用品(+) 2. 0%、ヘアカット代、理髪料などの値上がりにより理美容サービスが(+) 1. 2%、ハミガキなどの値上がりにより理美容用品が(+) 0. 1%とそれぞれ上昇したためである。

4. 寄与率

各分類の上昇率が、総合指数の上昇率(+) 2. 8%に影響を及ぼした主なものを大分類別で寄与率をみると上昇の寄与率は、食料が(+) 41. 8%、教養娯楽が(+) 15. 2%、被服及び履物が(+) 10. 3%、となっている。元年は、光熱・水道が(-) 0. 8%と下落に寄与したが、2年は全ての項目が上昇に寄与する結果となった。

中分類別に主なものをみると、上昇の寄与率は、他の教養娯楽が(+) 15. 2%、野菜・海草が(+) 13. 9%、自動車等関係費が(+) 7. 9%、魚介類が(+) 7. 5%、衣料が(+) 7. 1%となり、下落の寄与率は、通信が(-) 0. 7%、家庭用耐久財(-) 0. 7%、保険医療用品器具(-) 0. 4%となっている。

図4 消費者物価指数の上昇率と寄与率



※1 持家の帰属家賃を除く総合
 ※2 持家の帰属家賃を除く住居
 ※3 持家の帰属家賃を除く家賃

表1 総合指数と対前年上昇率の推移

昭和60年=100

	県				全 国					県				全 国			
	総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)	総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)		総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)	総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除 く総合	対前年 上昇率 (%)
昭和52年	-	-	74.9	7.8	74.9	8.1	75.3	8.1	昭和59年	-	-	98.2	2.4	98.0	2.3	98.0	2.2
53	-	-	77.7	3.7	78.1	4.2	78.1	3.8	60	100.0	-	100.0	1.8	100.0	2.0	100.0	2.1
54	-	-	80.3	3.3	81.0	3.7	80.9	3.6	61	100.4	0.4	100.3	0.3	100.6	0.6	100.4	0.4
55	-	-	87.3	8.7	87.3	7.7	87.4	8.0	62	100.4	0.0	100.0	-0.3	100.7	0.1	100.2	-0.2
56	-	-	92.0	5.4	91.5	4.9	91.7	4.9	63	101.1	0.7	100.6	0.6	101.4	0.7	100.7	0.5
57	-	-	94.7	2.9	94.1	2.8	94.1	2.7	平成元年	103.5	2.4	102.9	2.3	103.7	2.3	103.0	2.3
58	-	-	95.9	1.3	95.8	1.9	95.9	1.9	2	106.4	2.8	106.0	3.0	106.9	3.1	106.2	3.1

表2 対前年同月上昇率

単位：%

年	月	平成	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	2.8	2.9	2.10	2.11	2.12
		2.1	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
		1.1	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.7	1.8	1.9	1.10	1.11	1.12
総 合	県	3.4	3.5	3.6	2.4	2.5	1.7	1.9	2.6	2.5	2.7	4.0	3.5
	全 国	3.0	3.6	3.5	2.5	2.7	2.2	2.3	2.9	3.0	3.5	4.2	3.8
持 家 の 除 く 帰 属 家 合	県	3.3	3.6	3.8	2.5	2.7	1.9	2.1	2.7	2.7	3.1	3.7	3.8
	全 国	3.2	3.8	3.7	2.6	2.6	2.1	2.2	2.9	3.0	3.5	4.2	3.9

表3 5市平均中分類指数・寄与度・寄与率

昭和60年=100

	指 数		対前年上昇率(%)		寄与度	寄与率(%)
	平成元年平均	平成2年平均	平成元年平均	平成2年平均	平成2年	平成2年
総合	103.5	106.4	2.4	2.8	2.80	100.0
食料類	102.9	106.0	2.3	3.0	2.67	95.4
穀類	102.7	106.5	2.8	3.7	1.17	41.8
魚介類	101.1	104.3	1.1	3.2	0.12	4.3
生鮮魚介類	97.2	102.8	1.1	5.8	0.21	7.5
肉類	89.2	95.7	-0.4	7.3	0.15	5.4
乳類	107.7	108.6	6.7	0.8	0.02	0.7
野菜・海草類	94.7	100.4	4.8	6.0	0.07	2.5
生鮮野菜	110.9	123.2	1.4	11.1	0.39	13.9
果物	113.3	128.6	-0.7	13.5	0.29	10.4
生鮮果物	99.3	105.6	10.6	6.3	0.10	3.6
油脂調味料	99.3	105.6	10.9	6.3	0.09	3.2
菓子類	97.1	100.4	2.6	3.4	0.04	1.4
菓子類	100.9	103.6	1.5	2.7	0.06	2.1
調理食料	106.4	109.0	4.0	2.4	0.05	1.8
飲酒	97.8	98.3	2.2	0.5	0.00	0.0
外食	97.9	99.9	-2.0	2.0	0.03	1.1
その他	105.8	106.9	3.3	1.0	0.08	2.9
住居	108.1	109.9	2.2	1.7	0.20	7.1
住居(※2)	106.1	107.9	1.3	1.7	0.07	2.5
家賃(※3)	108.8	110.3	2.3	1.4	0.15	5.3
設備・修繕・維持	107.7	108.8	1.0	1.0	0.02	0.7
その他	104.1	106.8	1.7	2.6	0.05	1.8
水道	84.3	87.3	-0.5	3.6	0.17	6.1
熱気ガス	84.2	85.0	-0.8	1.0	0.04	1.4
電気ガス	79.4	78.7	-2.5	-0.9	-0.02	-0.7
他の光熱料	90.4	93.4	0.8	3.3	0.06	2.1
上下水道	53.5	66.5	-0.6	24.3	0.06	2.1
その他	105.6	114.5	1.8	8.4	0.07	2.5
家具・家事用品	101.5	102.2	0.6	0.7	0.02	0.7
家庭用耐久財	94.9	93.8	-2.3	-1.2	-0.02	-0.7
他の家具・家事用品	104.6	106.1	1.9	1.4	0.04	1.4
被服及び履物	108.4	112.2	4.0	3.5	0.29	10.3
衣料	109.5	115.2	5.4	5.2	0.20	7.1
シャツ・下着	110.7	112.9	2.4	2.0	0.04	1.4
履物	103.5	105.9	2.6	2.3	0.02	0.7
生地・他の被服類	104.9	106.9	4.0	1.9	0.03	1.1
保健医療	104.7	105.2	1.4	0.5	0.01	0.3
医薬品	104.2	104.9	1.3	0.7	0.00	0.0
保健医療用品・器具	103.6	101.8	1.9	-1.7	-0.01	-0.4
保健医療サービス	105.5	106.8	1.2	1.2	0.02	0.7
交通通信	100.9	102.9	1.3	2.0	0.24	8.6
自動車等関係	111.5	112.9	2.1	1.3	0.04	1.4
通信	97.2	100.4	1.3	3.3	0.22	7.9
その他	98.4	97.8	0.4	-0.6	-0.02	-0.7
教育	113.9	120.1	5.1	5.4	0.25	8.9
授業料	117.4	123.1	5.1	4.9	0.16	5.7
教科書・学習参考書	104.5	106.3	2.3	1.7	0.00	0.0
補習教育	105.3	114.5	5.0	8.7	0.09	3.2
教養・娯楽	106.4	110.2	3.1	3.6	0.42	15.2
教養・娯楽用耐久財	75.3	74.9	4.9	-0.5	0.00	0.0
他の教養・娯楽費	110.4	114.8	3.9	4.0	0.42	15.2
諸雑費	105.3	106.2	1.3	0.9	0.03	1.1
理美容サービス	106.5	107.8	2.5	1.2	0.01	0.4
理美容用品	101.7	101.8	1.3	0.1	0.00	0.0
身の回り用品	101.8	103.8	2.0	2.0	0.02	0.7
たばこ	111.1	111.1	0.0	0.0	0.00	0.0
その他	101.0	101.0	0.0	0.0	0.00	0.0

※1 持家の帰属家賃を除く総合
 ※3 持家の帰属家賃を除く家賃

※2 持家の帰属家賃を除く住居